

1 計画実現に向けて

「みどりの中の都市（CITY IN THE GREEN）」の実現に向けて、区民・事業者・行政がそれぞれの立場で行動するとともに、「（仮称）みどりの基本計画推進会議」を立ち上げ、学識経験者等からの意見聴取など、これまで以上に多様な主体との協働による事業の推進を図ります。

また、東京湾や河川などのみどりの動脈として位置付けた環境資源については、国や東京都、周辺区と連携しながら保全・活用を図っていくことが重要です。

(1) 推進体制と各主体の役割

①（仮称）みどりの基本計画推進会議による計画の推進

・CIGビジョンの「CIG実現会議」及び「CIG区民サポーター会議」を統合し、区民・事業者・行政が連携・協働して本計画を推進する「（仮称）みどりの基本計画推進会議」を立ち上げます。

「江東区 CITY IN THE GREEN」推進体制



計画実現に向けた推進体制のイメージ（案）

②各主体の役割

○区民

- ・庭、ベランダ、屋上、壁面など身近な場所をみどりで彩ることが期待されます。
- ・みどりの大切さを共有し、みんなに伝えることが期待されます。
- ・地域のみどりを守り育てる活動に積極的に参加することが期待されます。

○事業者

- ・接道部などの目に見える場所の積極的な緑化の推進や適切な維持管理が期待されます。
- ・地域の人と一緒に楽しめるみどりづくりを通じ、地域社会へ貢献することが期待されます。
- ・地域のみどりを守り育てる活動に積極的に参加することが期待されます。

○行政

- ・公共施設の緑化や適切な維持管理を進めます。
- ・みどりに関する情報発信や助成制度の拡充などを進めます。
- ・優良な緑化の事例、地域に大きく貢献している活動などに対する顕彰制度を創設します。

(2) 国や東京都・周辺区との連携

◆国や東京都との連携

- ・河川や東京湾においては、管理主体である国や東京都との連携を図りながら緑化施策を進めます。

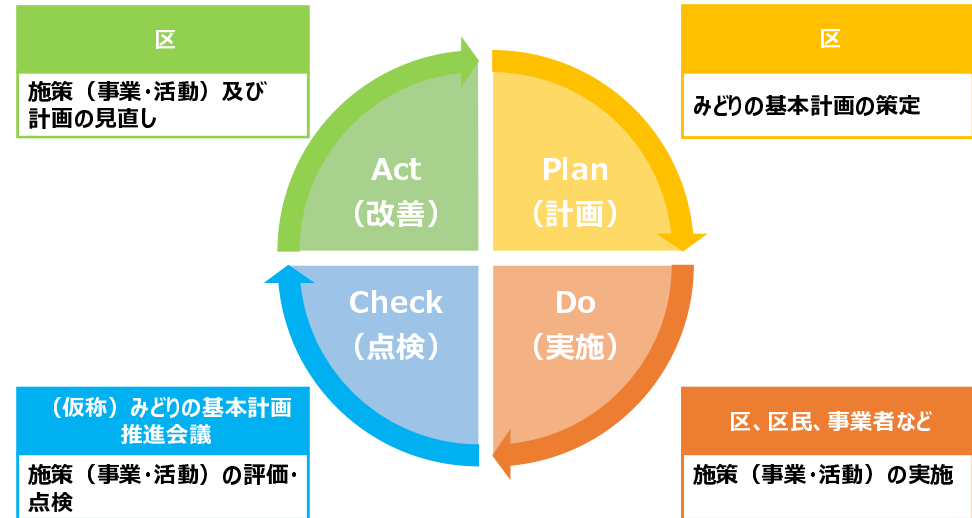
◆周辺区との連携

- ・河川を挟んで中央区、墨田区、江戸川区と隣接していることから、周辺区と連携を図りながら水辺の活用等を進めます。

2 計画の進行管理

本計画の計画期間は、令和11（2029）年度までの10年間です。計画を着実に推進していくためには、適宜、取組状況について把握し、評価・点検を行いながら、進捗状況や社会情勢の変化に応じて、柔軟に計画を見直ししていくことが重要です。

そのため、PDCAサイクルにより、計画を推進し、各ステップの役割を担う主体とその内容について明確にします。



※計画期間は、長期計画と同じ令和2（2020）年度から令和11（2029）年度です。長期計画の改定や社会情勢の変化等に合わせて、計画の見直しを行います。